

事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	てんりゅう 天竜	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	静岡県	対象市町村	はままつし 浜松市ほか4市町
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は県の西部に位置しており、北は南アルプスに連なる標高2,297mの中ノ尾根山^{なかの おねやま}を頂点に南に向かって急峻な尾根が枝分かれしつつ徐々に高度を下げ、洪積台地、扇状地、沖積平野が形成され、その間を菊川^{きくがわ}、太田川^{おたがわ}、天竜川^{てんりゅうがわ}、都田川^{みやこだがわ}等の大小河川が遠州灘^{えんしゅうなだ}や浜名湖^{はまなこ}へ注いでいる。</p> <p>本地区の森林面積は、134千haで区域面積の54%を占め、このうち民有林面積は111千ha、人工林率72%であり人工林の割合が多い特徴を持っている。人工林の齢級構成は1～7齢級が7%、8齢級～11齢級が32%、12齢級以上が61%と本格的な森林資源の利用期を迎えており、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>しかしながら本地区では、利用間伐等の森林整備を進めているものの、森林施業の集約化が進まず整備の行き届いていない森林も存在しており、森林の有する水源涵養^{かん}や山地保全等といった公益的機能及び木材等生産機能の発揮に支障を及ぼしかねない状況となっている。</p> <p>本事業は、森林経営計画の策定促進とあわせて、森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の維持増進を図るために必要な森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,296ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等 路網整備：750m 林道開設</p> <p>総事業費：2,398,163千円（税抜き 2,180,148千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.56</p> <p>（総便益（B）=11,223,517千円、総費用（C）=2,459,419千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、計画的に森林施業の集約化を図り、森林整備を推進する必要があるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 計画的な森林整備及び路網整備によりコストの縮減が図られ、また、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 適切な森林整備により森林の有する公益的機能の持続的な発揮及び林道開設により将来にわたって木材の安定供給の確保が期待されることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

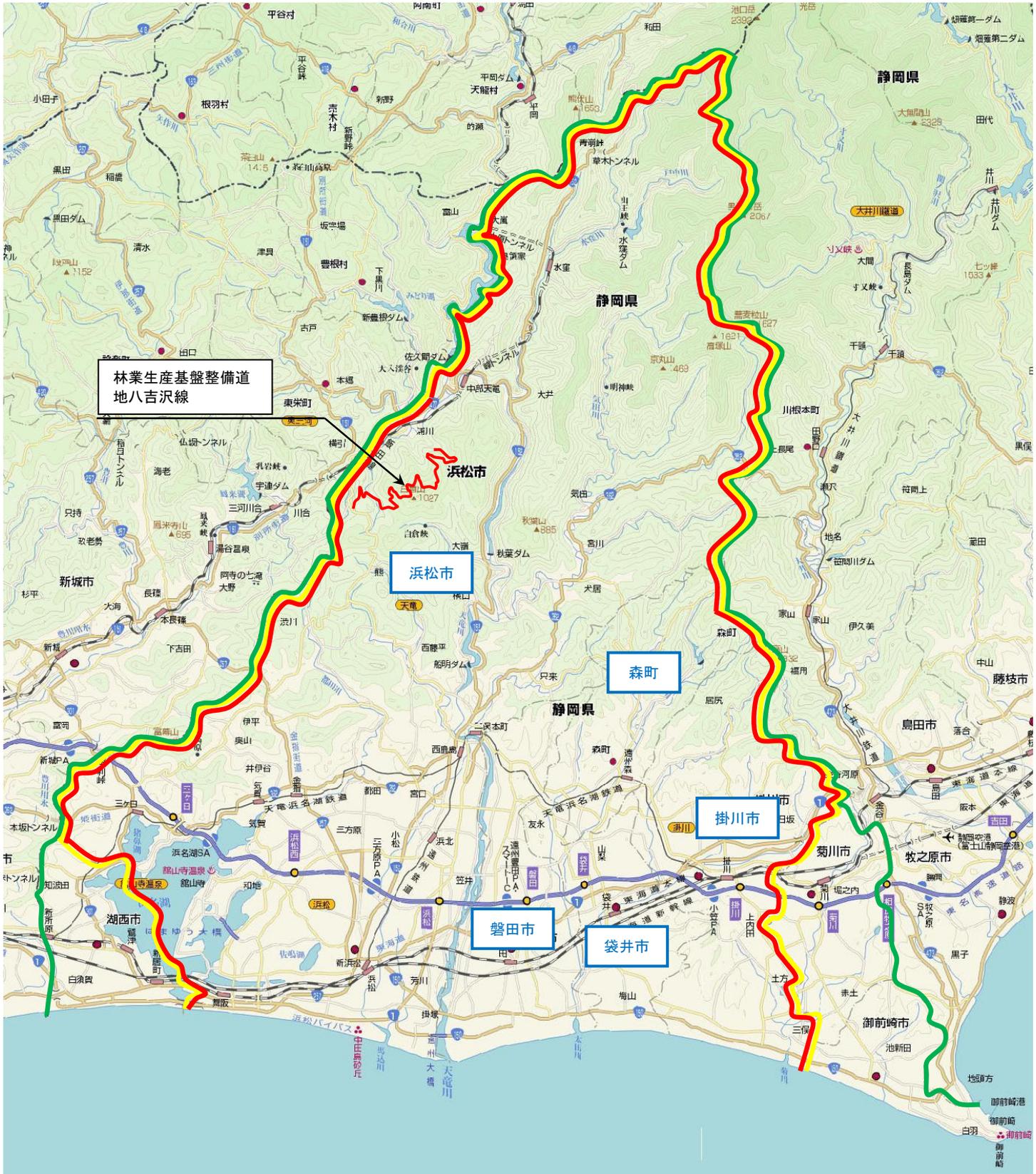
都道府県名：静岡県

地域(地区)名：天竜

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,771,709	
	流域貯水便益	693,469	
	水質浄化便益	2,649,288	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,124,833	
環境保全便益	炭素固定便益	1,296,165	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	113,963	
	木材利用増進便益	84,645	
	木材生産確保・増進便益	1,258,530	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	13,147	
	森林整備促進便益	217,768	
総 便 益 (B)		11,223,517	
総 費 用 (C)		2,459,419	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,223,517}{2,459,419} = 4.56$		

森林環境保全整備事業 天竜地域（静岡県）概要図



凡例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	

